

キラにこ・東っ子通信

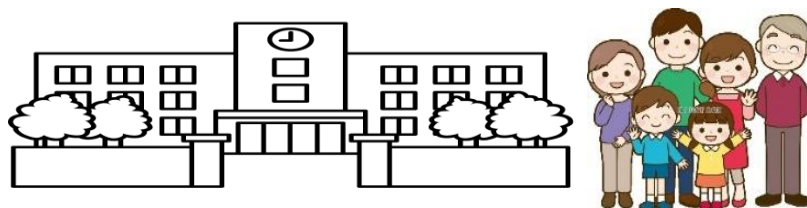
NO. 2 令和4年11月発行

中之口東小学校
CS事務局

第2回学校運営協議会が開催されました！

今年度より、子どもたちの豊かな成長を地域総がかりで支えようという取り組み「コミュニティ・スクール」が始まり、10月20日に第2回学校運営協議会が開かれました。3つの議題について委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただいたので、協議内容を抜粋してお知らせします。

地域とともにある学校を
目指して



《教育目標》

- ・進んで学ぶ子
- ・なかよくする子
- ・たくましい子

～協議内容～

1、前期学校評価について質疑・応答

- 登校時に挨拶する子が多い。親から子へと挨拶の習慣が伝わっているのだろう。
- 民生委員として挨拶運動をしてきたが、挨拶がよくなってきたことがとてもうれしい。

- タブレットの使い方に個人差があるのか。→学校東小はタブレットによるトラブルがない。使用度も他校に比べて高い。モラルの指導がこれから必要になると思われる。
- タブレット使用で視力の低下に気を付けてほしい。

- 登校で歩くスピードが速くなってきた。体力がついてきたのか。なわとび運動などの成果がでているのではないかな。



朝の挨拶運動



なわとび運動

2、次年度の学校運営の基本方針への要望 ～子どもたちに付けさせたい力～

○子どもと先生の評価の差を無くすようにしてほしい。→**学校**子どもたちは勉強が好きで楽しく学んでいるが学力検査では厳しい結果になることもある。少人数で個人差がある場合は、それに見合った授業、学び合いの授業に着手している。6年生は地域の役に立ちたいと半数以上が答えている。全国の3倍以上もある。一方、読書や家庭学習の見直しが必要。



○どのように評価しているのか。→**学校**教師は教育ビジョンに基づいて教職員アンケートに記入。児童は、生活・学習意識調査に東小の重点目標を追加してアンケートに答えている。子どもは学習が好きなので評価が高いが教師は厳しい評価になる。家庭学習は家庭学習ハンドブックを作成するなどして習慣付けをさせたい。

3、地域とともにある東小を考える ～これからの東小に寄せる思い～

○高齢化地域で若者が地域に戻ってこない現状がある。学力を付けることは勿論だが、子どもたちに地域の良さや地域の繋がりを伝えてほしい。

○基礎的な学力をしっかり付けてほしい。→**学校**どの子にも基礎的な学力を付けるようにする。

○タブレットを使って、調べたいことを正しく調べられるようになってほしい。→読みこなす力が必要なので読書が大切。図書館の活用など工夫していきたい。



タブレットを活用した授業

○勉強は大切だが、家事の手伝いや畑の仕事などの体験学習も大切にしてほしい。
→**学校**東小は体験できる素材がたくさん揃っている。作るもの、作る場所があり、本物の活動ができるところが強みなので、それを生かしていきたい。

4、その他 課題について



○クラスで人数も少ないことは、よい点と悪い点がある。東西の小学校が一緒になることも考えていく段階にあるのではないか。

→**学校**少人数であることの良さは、一人一人に出番があり、色々な場面でリーダーになる機会に恵まれる。少人数の良さを生かす方向でやっていきたい。

○合併に関する地域の要望を聞かせてほしい。コミ協で地域の声をまとめていきたい。



第3回学校運営協議会は、
12月16日(金)中之口東小学校
にて、小・中合同で開催します。